

## ゆうばえのみちの再整備に関する意見交換会を開催しました。

都筑土木事務所では平成 28 年 11 月から平成 29 年 3 月末まで「ゆうばえのみち（鴨池公園、牛ヶ谷公園～朝霧橋間）」の再整備工事をおこないました。この整備のなかで、自転車の減速、一時停止を促し、歩行者と安全に通行できるよう園路上に多数の車止めを設置しましたが、それにより電動車いす等が通行しにくくなったとのご意見を多数いただきました。

現在、一時的に車止めを 1 台外して通行に支障がないようにしていますが、今後、この車止めをどのようにしていくのか、またその他の整備箇所について、地域のみなさまと都筑土木事務所と現地で意見交換をおこないました。

日 時：平成 29 年 5 月 18 日（木）午前 9 時 30 分～11 時 00 分（都筑荏田地区民生委員児童委員向け）

平成 29 年 5 月 20 日（土）午前 9 時 30 分～11 時 30 分

場 所：ゆうばえのみち（鴨池公園、牛ヶ谷公園～朝霧橋間）

参加者：地域のみなさま：8 名+38 名

### 【当日確認したこと】

- ・車止めは奥行の幅を 135～140cm 確保すると車いすや保育園のカート等が支障なく通れる。
- ・自治会、町内会の避難訓練等で使うリヤカー等は運用で対応する。
- ・車止めの移設については、配置図案を作成し、事前に現地に掲示する。
- ・その他の整備についての意見は、継続しておこなう緑道再整備に活かしていく。

### 【当日の様子】



実際に車いす利用の方に通って頂き、適切な間隔を確認。



通行に支障のない間隔を計測。

【おもなご意見】

<b>・全体について</b>
このような意見交換会を開催したことは、一歩前進で評価できる。
今回はとても参考になった。
事前の説明がなかった。ホームページで計画・方針を説明してほしい。
工事の事前の説明がなかった。緑道はかなり遠いエリアの人も利用しているので、広い範囲に周知が必要。
今回、現場に掲示した周知方法はとても良かった。
住民参加を徹底してほしい。これからの緑道再整備でのモデルとして示してほしい。
緑道などの工事が終わったあとに、土木事務所による「ガイドツアー」みたいなイベントがあると楽しいし、一層愛着を持ってもらえると思う。
学識経験者などによる監修も必要ではないか。
意見交換会等を経て設計されたものを確認したい。
雨の日や炎天下、寒い朝、夜間など、様々な状況を現場で実体験して、設計に活かしてほしい。
緑道再整備の設計方針・基準などが整備されるべき。
港北ニュータウンのグリーンマトリックスの考え方をしっかり押さえて計画してほしい。
子どもも大人もルール・マナーをしっかり守っていききたい。
土木さん、頑張って！
一層の努力を！
<b>・車止めについて</b>
車止めの間隔は車いす、大型ベビーカー、保育園のカート、配達用のカートなどが通れるようにしてほしい。
自治会の避難訓練や愛護会活動等でリヤカーを使うので、車止めは通れる幅にしてほしい。または自治会、愛護会などにはキーの貸し出しをしてほしい。
二列目の車止めは撤去し、その部分の路面に膨らみをつけると自転車の減速につながるのではないか。
（上記意見を受けて）段差ができるので、お年寄りがつまづくことになるので反対。
一列目と二列目の奥行幅は135cm～140cm あれば、車いすも無理なく通れる。
自転車に対しては二列目の車止めの内側に看板等をはめ込むのがよいのではないか。
二列目の車止めを標準型でなく、幅広のものを設置すれば、自転車の減速につながるのでは。
設置位置が照明灯から離れた箇所であり、夜間暗くて見えづらい。照明灯の下につけるか、その場所に照明灯を増設するなどの対応が必要だったのではないか。現在つけてある回転等は工事現場のようでみっともない。
現在、一時的に車止めを一台外しているが、そのままにしてもらいたい。もしくは幅を広げてもらいたい。
車止めの配置はどの箇所でも同じ寸法となっている。場所により利用頻度や園路形状も違うので、その場にあった配置にすべき。きめの細かい設計が必要。

たとえば自転車歩行者専用道路から緑道に入るところと、緑道内に設置したところでは意味合いが違うはず。入ってくるところは厳しくし、緑道内は緩やかにしてもよいのでは。
既製品を使っているため、現場の傾斜に合っていない。そのため基礎コンクリートが出っ張っているところもある。
標準品だけでなくデザインの優れたものを選択しても良かったのでは。
車止めが多すぎる。
自転車が通ってよいのであれば、電動自転車のことも考慮してほしい。通りづらい。
車止めは金属製でなく、柔らかい素材のものにならないか。
90 cmの基準は横の間隔であり、奥行きや屈曲している場合はこれに拠らないのではないか。
<b>・照明について</b>
LEDに交換して明るくなってよかったが、灯具の位置が低くまぶしく感じる。公園にある照明と比べて低い、もっと高くできないか。
開発当初のデザイン照明灯を残してもらい良かった。
照明はあるが、枝葉が茂り、光が遠方まで届いていない。照明の増設をお願いしたい。
照明器具のデザインは当初のデザインには及ばないが、小ぶりで前のものより良くなった。
灯具が一律に同じものに変えられているが、場所により灯具の指向性を考慮して適切なものを選択すべきでなかったか。
<b>・樹木について</b>
樹木の間伐により、明るくなった。もう少し間伐しても良かったのでは。
樹木は3~5年ごとに間伐してほしい。
間伐だけでなく、植樹も考えてほしい。
間伐するにしても、配置やバランスだけでなく、樹種も考慮してほしい。学識経験などにアドバイスを受けてもらいたい。
樹木の伐採することを事前に看板で周知していたことは良かった。ただし、位置が低く見づらかった。どのような樹種を選んで伐採するのかの説明がなかった。
間伐対象木の選定について、経験の浅い担当者だけにまかせるのではなく、経験豊富な上位者も現場で確認し決定すべき。
<b>・舗装について</b>
舗装について、雨の日の水溜りの状態など、事前に確認が必要だったのでは。
石畳の表面の荒削り（ショットブラスト加工）は見た目も、実際に滑りにくくなっており高齢者には歩きやすいようだ。
すべり止め加工はとても良かった。
石畳は濡れてすべるのはあたりまえなので、落ち葉清掃をしっかりすればある程度防げらと思う。
すべり止め加工の境目が直線でみっともない。石畳の柄にあわせるなどの配慮が必要ではなかったか。
アスファルト舗装はなぜ色を変えるのか（エンジ色のところ）理解できない。

水たまりができるので、アスファルト舗装にしてほしい。
土舗装は過去におこなって良い結果が出ているところがあるので、そのような箇所を参考にしてほしい。
土舗装の種類は試行錯誤して良いものを見出して行けばよいのではないか。
以前の土舗装は石がゴツゴツして転ぶとケガをしたが、今度の舗装は良くなった。
アスファルト舗装や石畳のすべり止めなど、快適になった。
担当者が変わるたびに個人の趣味的な仕様が用いられ、様々な仕様が混在する結果となっている。統一した仕様を定めるべき。
階段に上り降りの表示が欲しい。(右側通行等)
<b>・自転車マナーについて</b>
現状から、緑道での自転車押し歩きは無意味。自転車走行を許可するが、「徐行」「ゆっくり」「歩行者優先」などの表示も必要でないか。
自転車走行は、条例とは別に実情に合わせて運用すべき。
自転車の走行帯を分けてほしい。
都筑警察とのコラボレーションも必要ではないか。
時代が変わるとともに人口も、状況も変化する。使い方は時代に合わせて変えればよい。作ったものは改良してきちんと運用すればよいのでは。
自転車に対しての看板の盤面が、園路に対して並行に向いているため、自転車からよく見えない。両面から見えるように設置してはどうか。
自転車に対する路面標示の結果、自転車が大手を振って走れるようになり、歩行者が隅に追いやられているように感じる。
石畳のところにもシールが貼ってあるが、自然石にはなじまない。看板で標示することはできないか。
路面標示について、「自転車通行側」等、もっと目立つように書き換えてほしい。
自転車の乗り方を幼稚園、学校などで教えることで意識が変わっていくのでは？。子どもたちの描いたポスターを緑道に掲示して注意喚起している北山田小学校の取組みが参考になるのでは。
シルバーゾーンのように通行帯を色分けしたらどうか。
<b>・その他</b>
ベンチが設置されてとても良かった。
ベンチの色を荏田南小学校のスクールカラーにしたとのことだが、緑道に合わないと思う。
標準型のベンチを設置しているため、基礎部分の納まりがよくない。石畳部分は現場に合わせた特注品にするなど、製品、施工に配慮が必要ではなかったか。
新設された手すりは、既存の優れたデザインのを踏襲して設置されたのでとても良かった。
土留めや山留に擬木杭や平板を用いているが、自然石の間知石などを用いてほしい。
蜂の巣ができたらずくに撤去してほしい。
側溝に蓋掛けがされたが、清掃が大変になるのではないか。また蚊の発生源にならないか心配。

【今後について】

今回いただいたご意見をもとに、土木事務所で検討をおこない、特に車止めについては、配置換え等の案を作成し、その内容を現地に掲示します。また車止め以外の整備についていただいたご意見も、今後継続しておこなう緑道の再整備の参考とさせていただきたいと思います。